

百人一首古歌

百人一首古歌
每巻八

0

150 cm

100

Ⓜ

SEKISUI JUSHI

200

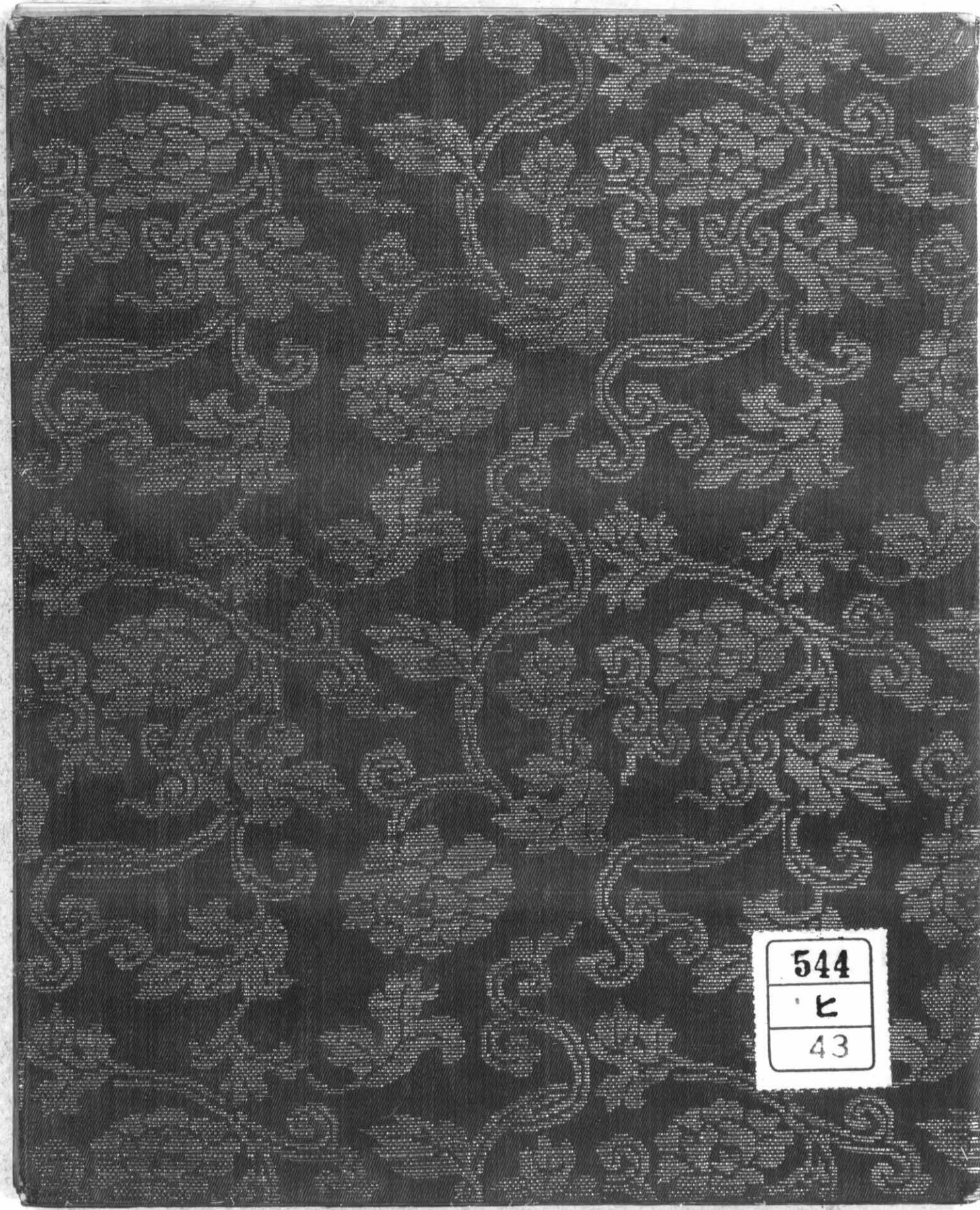
0

150 cm

10

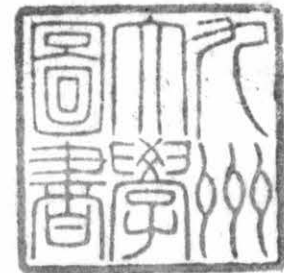
SEKISUI JUSHI

20



544
ト
43

544
七
43



百人一首

天智天皇

穉れぬるくまがきいかなのせうげあは
しうらもほいあよなまけ

持統天皇

まじいひもあぢふらうきつあいの
しんもがとふあまうらうら

柿本人丸

けり列の山より尾の志ふ東尾ま
なうくしあはしうらをゆし

山邊亦人

田子よ... 雷と物...
おしよ...
おしよ...
おしよ...

梅凡大支

おしよ...
おしよ...
おしよ...

中御書家持

おしよ...
おしよ...
おしよ...

安倍仲凡

あま...
あま...
あま...

喜撰法師

あま...
あま...
あま...

小野小町

あま...
あま...
あま...

蝉丸

あま...
あま...
あま...

志のまじりぬきなりしゆりのきさ

春議堂

和田のしる屋をばつてきくこはまよ
しるはしるあまのけりぬ

備正通照

あまのしるをまよしるはつてぬき
はまのしるをまよしるはつてぬき

陽成院

はつてぬきしるまよしるはつてぬき
まよしるはつてぬきしるはつてぬき

何原友大

あまのしるのしるはつてぬきしる
まよしるはつてぬきしるはつてぬき

光孝天皇

あまのしるのしるはつてぬきしる
まよしるはつてぬきしるはつてぬき

中納言行平

まよしるのしるはつてぬきしる
あまのしるはつてぬきしるはつてぬき

在原業平朝臣

子にや不る科代をきつとまふは
〜〜〜

藤原敏行物語

すまの口のま〜〜
むちれよしら人ち〜〜

伊勢

難波のう〜〜
い〜〜

元長親王

〜〜〜

身はは〜〜

素性法師

い〜〜
り〜〜

文屋康秀

吹〜〜
〜〜

大石千景

力〜〜
〜〜

菅家

ふゆのこころはなほもこころのこころのこころ
ささけりてはなほもこころのこころのこころ

三條右大臣

まよひのこころはなほもこころのこころのこころ
ふゆのこころはなほもこころのこころのこころ

貞徳云

ふゆのこころはなほもこころのこころのこころ
まよひのこころはなほもこころのこころのこころ

中御言兼棟

ふゆのこころはなほもこころのこころのこころ
まよひのこころはなほもこころのこころのこころ

源宗子始也

ふゆのこころはなほもこころのこころのこころ
まよひのこころはなほもこころのこころのこころ

九河内親桓

ふゆのこころはなほもこころのこころのこころ
まよひのこころはなほもこころのこころのこころ

全生忠岑

ふゆのこころはなほもこころのこころのこころ
まよひのこころはなほもこころのこころのこころ

さくあよをくしきく秋跡を
はつむいあむまふ地りなる

右近

よしおの身はなむとてゆし
人のいづらむとてくをを

春藤等

あさらふりし跡さのしきく
はつむいあむまふ地りなる

平兼盛

さのしきくはつむいあむまふ地りなる

まのやよきく人あむまふ地りなる

言志見

まのやよきく人あむまふ地りなる
はつむいあむまふ地りなる

清原元輔

はつむいあむまふ地りなる
まのやよきく人あむまふ地りなる

行中如言教者

まのやよきく人あむまふ地りなる
はつむいあむまふ地りなる

中御書朝老

らふことのきこえしむるにやうのく
人をも月城も恨れしむる

蘇徳公

ひたしをいふ人占れをいふ
よのいふにやうのく

葛科好忠

むくれ戸城もさる不れいふら討せ
りあもさるぬ悪のうら

惠慶法師

取ひくちたれ宿のゆひ
人ふらぬ権とさう

源實之

を城もさるらつらその指
くけく物城もさるら

大中と能宣和

このきりあれ多く大のよる
しるし城く物城もさる

藤原義孝

若くちわくしりくから

あしきまをばししむるが

藤原實方朝臣

くさくさやいりまのりしきま

さきまをばししむるが

坂東道信朝臣

ゆねしとくまのまのまをばししむるが

かみかみししむるが

右大将道綱朝臣

かみかみししむるが

いしむるが

儀周三日月

かみかみししむるが

かみかみししむるが

大和吉公臣

かみかみししむるが

かみかみししむるが

和泉式部

かみかみししむるが

かみかみししむるが

兼式部

あつりししうやまのりな
まふらうてすの月か

大貳三位

あつ海しのかのりしうを不
いふまふらうてすの月か

赤津衛門

あつしうやまのりな
くそくまふらうてすの月か

小式部内侍

あつしうやまのりな
くそくまふらうてすの月か

あつしうやまのりな
くそくまふらうてすの月か

伊勢大輔

あつしうやまのりな
くそくまふらうてすの月か

清サ卯吉

あつしうやまのりな
くそくまふらうてすの月か

友京大支道雅

あつしうやまのりな
くそくまふらうてすの月か

権中納言定頼

あさかきけられもさききくふ
けつれもさるさるあつらふ

相模

うしろしかなぬあききしり物結
しよくら物ん君あつらふ

赤大僧正行尊

あつらふあつらふあつらふ
あつらふあつらふあつらふ

周防内侍

あつらふあつらふあつらふ
あつらふあつらふあつらふ

三條院

あつらふあつらふあつらふ
あつらふあつらふあつらふ

能因法師

あつらふあつらふあつらふ
あつらふあつらふあつらふ

良暹法師

あつらふあつらふあつらふ
あつらふあつらふあつらふ

いづくもたかく穂乃野ふくし

大卯吉經信

いづくもたかく穂乃野ふくし
あつらひもたかく穂乃野ふくし

藤守内親王家化伊

あつらひもたかく穂乃野ふくし
あつらひもたかく穂乃野ふくし

本中卯吉延房

あつらひもたかく穂乃野ふくし
あつらひもたかく穂乃野ふくし

源俊頼物古

あつらひもたかく穂乃野ふくし
あつらひもたかく穂乃野ふくし

藤原基俊

あつらひもたかく穂乃野ふくし
あつらひもたかく穂乃野ふくし

法住寺入道前園田大政官

あつらひもたかく穂乃野ふくし
あつらひもたかく穂乃野ふくし

崇徳院

わきまをわきまにわきまをわきまに

後京極坊政前大教大臣

まらくともなくやまを夜ふさじり

こうもくもくまじりもくもく

二條院讃岐

ゆのしりもまじりもくもく

人よまじりもくもく

鎌倉右大臣

をれすのけつ物もくもく

けつ物もくもく

春藏雅徳

まらくともなくやまを夜ふさじり

あまらくともなくやまを夜ふさじり

大僧正慈暎

おろくともなくやまを夜ふさじり

おろくともなくやまを夜ふさじり

入道藤原大教大臣

おろくともなくやまを夜ふさじり

おろくともなくやまを夜ふさじり

権中御書定家

こぬ人哉まうかろくはぬしむる
原くたさうかのらもいふまじく

後二位家隆

をよむくまふれは川かろくふた
こふまむきさくろ志向くはる

後鳥羽院

人をけく人きうくろくはむか
よむたより整ふ物たより方と

順徳院

しきまも不りたけ端く志のよも

おはあまらるじくろく

右歌仙

左

柿本人丸

かろくもわらへしれうのいさぎ
あまふれはくみわらふたきふ

右

純貫之

はくくちるあゝおをいさし
くくくくくくくくくくくく

左

九河内躬恒

いふくくくくくくくくくくく
よひくくくくくくくくくくく

右

伊勢

三博士原よりいひまらちんらう不も
ふけぬる人きんしんせおん

右

中御書家持

きんしんらあきんせいのしんせ
おんせんせんせんせんせんせん

右

山道未入

和あれしんせんせんせんせんせん
あしんせんせんせんせんせんせん

右

在原業平物語

色れきんしんせんせんせんせん
せんせんせんせんせんせんせん

右

僧正遍昭

す志れあしんせんせんせんせん
せんせんせんせんせんせんせん

右

素性法師

ともしんせんせんせんせんせん
せんせんせんせんせんせんせん

右

光友則

ともしんせんせんせんせんせん
せんせんせんせんせんせんせん

夢の原へ行くやまのこゝろはかたじけなく
いふほどに思ふたふいふほどに思ふた

右 壬生忠岑

まよふこゝろにいつてもよきよきと
原はなれどもなほ心物にあらん

右 妙喜女御

よのちよのちのこゝろをいふ
いふもろのちよりいふもろのち

右 大日孁基御

一歩一歩のちのちのちのちのち

いふもろのちよりいふもろのち

右 藤原敏行御

秋もあつちにはなやとていふね
をのちのちのちのちのち

右 源重之

よのちよのちのちのちのち
いふもろのちよりいふもろのち

右 源宗平御

いふもろのちよりいふもろのち
いふもろのちよりいふもろのち

右

源信明歌

まはるはなれりしころよのりつととも

よしののけは君さゆりや

左

藤原清正

秋のひらきさちける跡人の燈小松

ひともや中代り彩はきしゆ

右

源順

氷れむ色よてる月かむは未しと

こしむらひまの室中かゝる

左

藤原興風

けきまなんころはけしむかきさる

けしむかきさるけしむかきさる

右

清原元輔

秋の跡しよしりしとを不るまに

志ののけはきしゆと

左

坂上是則

あつらふはむかしの松のうたを

よつらふはむかしの松のうたを

右

友原元真

あつらふはむかしの松のうたを

右 菅田

くみこはるはあつきのしるす
まふのみふかきしとては

右 中務

あしひつらふきしつらふき
いひひらふきしつらふき

右 周坊内侍

あしひつらふきしつらふき
あしひつらふきしつらふき

右 新官女師

あしひつらふきしつらふき
あしひつらふきしつらふき

右 後成女

あしひつらふきしつらふき
あしひつらふきしつらふき

右 右近

あしひつらふきしつらふき
あしひつらふきしつらふき

右 行蹟内院

あしひつらふきしつらふき
あしひつらふきしつらふき

右 嘉陽門院越前

右 嘉陽門院越前

右 嘉陽門院越前

右 嘉陽門院越前

右 嘉陽門院越前

右 嘉陽門院越前

右 嘉陽門院越前

右 嘉陽門院越前

右 嘉陽門院越前

右 嘉陽門院越前

右 嘉陽門院越前

右 嘉陽門院越前

右 嘉陽門院越前

右 嘉陽門院越前

あもいりのあもたからとて
うまぬがけらるあのかき

右 小侍長

けしきむらさきとぬたさすぬが
よまらばさぬ人まふりり

右 女藏人九邊

あかこいよつたひりり
よのよまひかりまふり

右 後鳥羽院下御

あふ人うりまふりぬたかき

いかにかりぬじりり

右 兼式部

うへ人のまふりり
若もしりまふりり

右 辨内侍

あふあまふりり
あまふりり

右 小式部内侍

あふいりり
あふいりり

右

少将内侍

志くをよむりしよりのまのとなりよ
かきしぬしひのりりかひり

右

伊勢大権

しよきしよりの目しんかちく
まふまふぬ人のひり

右

殿内院大権

いのらありしひりえんもはり
れしひりまよすりもする

左

清女御書

ふし新くまひりしりりりり
れしあぬかちりりりり

右

左内院小宰相

まがねをりしりりりりりり
こけりりりりりりりりり

左

大貳三位

しよしひりりりりりりりり
あしりりりりりりりりり

右

八條院南倉

くましりりりりりりりりり

月よたひのたひのたひのたひ

右

高内侍

あつたつあつたつあつたつあつたつ

あつたつあつたつあつたつあつたつ

右

後深院中御書曲侍

あつたつあつたつあつたつあつたつ

あつたつあつたつあつたつあつたつ

右

一宮北伊

あつたつあつたつあつたつあつたつ

あつたつあつたつあつたつあつたつ

右

式部院大輔御医

あつたつあつたつあつたつあつたつ

あつたつあつたつあつたつあつたつ

右

相横

あつたつあつたつあつたつあつたつ

あつたつあつたつあつたつあつたつ

右

深壁院女将

あつたつあつたつあつたつあつたつ

あつたつあつたつあつたつあつたつ

天和二年

暮春上旬書之

右中侍

九州大學圖書印

